

令和6年度

公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業計画

はじめに

コロナ禍により激減した外出型消費は改善傾向を示しており、日本経済は労働力不足や金融政策の見直しという課題に直面しつつも、内需、賃金、物価が上向きに緩やかな回復傾向にあります。

特に、中小企業の生産性向上や女性や高齢者、外国人労働者の活用が注目されており、令和6年度には、より一層内需が拡大し、労働市場も改善すると見込まれています。それらは労働力不足の解消と生産性の向上が景気の回復及び経済成長の鍵となっています。

令和6年度では、DX化による業務効率化を図るとともに、地域資源を活用した商品開発と新たな販路を開拓し、日本全国の地場産品と切磋琢磨することで地域経済の活性化に尽力する所存であります。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

1 丹後地域新商品・新技術開発支援事業（重点取組）

加工食品の保存性の向上や価格の適正化など、丹後地域が抱える課題を解消すべく、「京丹後市食品加工支援センター」（以下「加工支援センター」という。）を活用し、地域生産者及び食品製造者の新商品・新技術の開発、試作品・パイロット商品づくりに取り組み、販路開拓の実現性が高い競争力ある商品の開発・製造を実施する。

2 丹後地域加工食品品質向上連絡会（重点取組）

当地域で製造されている加工食品等はパッケージングや滅菌処理技術など、販路先が求める技術水準に達していないケースが見受けられ、さらに魅力ある商品にするためには課題となっている。これらの課題に対して、令和元年度に丹後地域の加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上、販路開拓支援を促進することを目的に設立した「丹後地域加工食品品質向上連絡会」において、課題を共有し、解決に向けた方策を検討するとともに、加工支援セン

ター事業の評価を行う。

Ⅱ 人材育成事業（公益目的事業1）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属業をはじめ、地域事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を活かした未来指向型の産業・ワークスタイルを創造し、雇用・就業創出を図ることを目的に下記の人材育成事業を実施する。

1 創業支援事業

平成26年度から創業支援事業者として「創業支援窓口」を開設しており、令和6年度も引き続き、関係機関・団体と連携協力し、相談及び指導並びに情報提供を行う。

2 手機講習会等の開催

研究開発棟に設置の手機を活用し、丹後地域の伝統産業である織物技術の継承及び普及を図ることを目的に「手機講習会」等を開催し、指導者の育成を図る。

3 染色講習会の開催（新規）

染色グループ「網野染色研究会 茜」の活動の拠点として施設を提供しながら染色技術の向上や次世代の育成を図り、地域内での関心、興味を高めるため「染色講習会」、「体験実習」等を実施する。

4 丹後地域生産者・製造者レベルアップ支援事業（重点取組）

丹後地域の食品加工事業者等に対し、販路から求められる加工技術に関する研修を行うことで、事業者及び地域の総合的なレベルアップを図る。

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

（1）Tango Good Goods 認定事業

事業開始以来26年目を迎えるTango Good Goods 認定事業を6年度も継続実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づく

ブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進する。

Tango Good Goods 認定審査基準においては、厳格なコンプライアンスへの対応が求められており、再度、製造者の意識を高め Tango Good Goods としての質的レベルの維持・向上を図る。

また、認定品への Tango Good Goods ロゴシール貼付の指導を推進し、地域ブランド商品として差別化を図る。

○Tango Good Goods 認定推進委員会開催

○Tango Good Goods 認定品募集

○Tango Good Goods 審査会の開催

○令和6年度認定品の Tango Good Goods 認定品カタログの作成（B to B）とバイヤーへの配布

（2）丹後ブランド商品の販売促進と見本市の開催

第26回目となる丹後ブランド商品の「見本市」を開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場産品の地域内PR及び流通促進を図る。

また、Tango Good Goods 商品の流通を促進するため、PR展示等を実施する。

（3）Tango Good Goods 販路開拓支援事業（重点取組）

○商談会への出展（新規）

地方銀行フードセレクション等へ出展し、新たな販路開拓を目指すとともに、バイヤーの求める商品要望をヒアリングし商品の改良、開発の機会とする。

○商談会出展セミナーの開催（新規）

商談会への参加経験が少ない事業者も多いため、商談会での効果的な対応方法を学ぶセミナーを実施し、参加事業者の商談スキルを高め、成約率を向上させることを目指し事業を実施する。

2 京都丹後ブランド産品会の支援

Tango Good Goods 認定事業者のうち地域外へも販路を開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド産品会」の活動を支援し、新商品開発、販路開拓等の事業を実施する。

3 地域特産品販路開拓事業

（1）地場産品販路開拓支援事業

都市部における特産品ショップ等の開拓を進めるとともに、バイヤーの求める商品の開発を行い、積極的に製造者に情報を提供し、商品の改良、

開発を促す。

(2) 丹後のええもん うまいもん展開催事業

京都丹後ブランド製品会を支援し、京都、大阪等の大都市圏において丹後産品及び地域紹介を目的として、「丹後のええもん うまいもん展」を開催する。

(3) 丹後王国「食のみやこ」との連携による丹後産品流通支援事業

丹後王国との連携により、京都市内をはじめとする近隣の大都市圏を対象に、農産物や農水産加工品等の地場産品の販路開拓及び流通支援を行う。

(4) ふるさと納税返礼品商品開発研修会（新規）

ふるさと納税事業に造詣の深い講師を選定し、人気のある商品、求められる商品を分析、解説してもらい、競争力がある商品の改良、開発の一助とする。

4 染色体験・手機体験事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめんや織物に対する理解を深め、地場産業に触れてもらう機会を創出するため、「網野染色研究会 茜」及び「網野機業組合」の協力を得て、体験・見学事業を実施し、情報発信並びに誘客の強化を図る。

IV 情報収集・提供事業（公益目的事業1）

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工、提供し、「アミティ情報」の発行により各種情報をタイムリーに提供し、製造者の経営に寄与するとともに、製造者との意思疎通の一助に資する。

2 ホームページ等による地域資源発信事業

当センターオフィシャルホームページにおいて地域情報、センター情報、産品情報、地域企業情報等を発信するとともに、SNSツールを効果的に活用し、センターホームページへの誘導等を図るとともにタイムリーな情報提供を行う。

また、地域の自治体及び機関・団体等と連携し、地域資源情報等を積極的に交換し地域の魅力をPRする。

3 物産展等の販売機会情報収集提供事業

各地域地場産センターや地域内外のイベントなど地域PRに有効な物産展情報を収集し、京都丹後ブランド産品会会員へ情報提供を実施し、地域PRの機会を提供する。

4 DX化推進事業（新規）

デジタル技術を活用して地場産品製造事業者の販売分析情報を発信するとともに、事業者のDX化導入を促進し、業務の効率化を図る。

V 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な機能及び事業の柱の一つである地場産品のPRを目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ地場産品約3000品目に及ぶ製品を展示している。

今後も年間を通して丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努める。

2 丹後産品情報発信事業

コンシューマー向けカタログ（中元・歳暮の2種）の作成・配布に加え、ECサイト及びふるさと納税制度の活用により、通信販売事業を引き続き実施するとともに、消費者が欲する新商品や新サービスの開発を行う。

VI 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）

1 会場提供事業

センター施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出し、地域コミュニティーの場として地域活性化の一助に資する。

VII 誘客販売事業（収益事業2）

1 販売事業

来館者等のニーズを捉え、手軽な土産品となるキーホルダー等の販売の充実を図る。

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設 23 年を迎え、新鮮、安心・安全、美味しいと地域住民・観光客等から好評を得ている。

また、生産者自らが自身の生産物の価値を検証し、価格を決定、販売する展示即売室に常設の農産物直売所方式は消費者に好評であり、令和 6 年度においても引き続き実施するとともに、出品者の開拓、消費者へのアピールを行う。

3 野村克也ベースボールギャラリー

野村克也氏からの貴重な寄贈品を展示し、郷土の英雄の偉功をたたえとともに地域誘客の一助とする。

VIII 丹後地域外食品加工受託（収益事業 3）

加工支援センター（新商品・新技術開発支援事業）の設備を活用し、丹後地域外からの製造依頼にも対応する。

IX 管理事業

1 理事会・評議員会の開催

丹後地域地場産業振興センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会並びに評議員会を開催する。

（1）定時理事会

開催予定	主な審議内容
令和 6 年 5 月	・令和 5 年度事業・決算報告ほか
令和 7 年 3 月	・令和 7 年度事業計画・予算案ほか

（2）定時評議員会

開催予定	主な審議内容
令和 6 年 6 月	・令和 5 年度事業・決算報告ほか ・評議員・理事・監事の選任